

瞳を輝かせて

Brilliant
Eyes

常に向上心を持ち続けて

平成18年(第10回)全日本柔道形競技大会五の形優勝

水野 博介さん(三好上)

形と乱取り。柔道にはこの2つの修行法があります。自由な方法で練習や試合

をする乱取りに対し、形は技を掛ける「取り」と技を受ける「受け」に分かれて、決められた手順とフォームでそれを反復して技を習得します。今回は、10月22日に東京の講道館で開催された形の全国大会、全日本柔道形競技大会の「五の形」で優勝した水野博介さんを紹介합니다。

「形を究めていくことはなかなか難しいことですが、こうした競技大会のように成果を表現できる場があるのは、自分の目標になり稽古の励みになります」と水野さん。今年の形競技大会では、全国10地区の代表40組80人



▶▶▶プロフィール

みずの・ひろゆき 昭和32年生まれ。東海高校教諭。講道館柔道7段。愛知県柔道連盟少年競技者育成委員長。強化副委員長。全日本柔道連盟審判Aライセンス、国際柔道連盟コンチネンタル審判ライセンスを持つ。



が出場し「投の形」「固の形」「講道館護身術」「五の形」の4種目が行われました。その中で「五の形」は「取り」と「受け」に分かれた2人で、柔道の攻防の水が流れる様子に例えて5つの形で表現するもの。水野さんのパートナーはこれまでずっと一緒に組んできた気心の知れた学生時代の後輩。前回は投の形で準優勝、五の形で3位という成績でした。そして絶対に優勝しようと思った今大会。前回表現できなかったものに重点を置いて練習を重ねてきました。しかし、お互い仕事が忙しくほとんど一人での練習。二人で練習ができたのはほんの数回だったそうです。「競技直前はやはり緊張しました。優勝目指して練習してきたのでよかったです。ただ優勝したからといって終わりではなく、何事に対しても常に今の自分を向上させる気持ちでいたいです」とさらなる高みを目指します。

これまで国民体育大会や世界マスターズ柔道選手権大会など多くの大会で優秀な成績を収め、インドやカナダなど海外へも柔道の講師として出向いています。今年9月には、全日本柔道連盟の推薦により国際柔道連盟コンチネンタル審判ライセンスを取得。12月に開催される福岡国際女子柔道選手権大会という大舞台で審判を務めます。「今後は審判の活動も充実させながら、乱取りや別の種目の形競技にも挑戦していきたいです。これまで柔道を通じて多くのことを経験でき、柔道の奥の深さに魅かれて続けてきました。この先もその気持ちが続くことばありません」と瞳を輝かせます。

おめでとう
おたんじょうび
12月

『夢はプロ野球選手だよ』

野球が大好きで大人顔負けの投球フォームのたっちゃん。休みの日には、バットとグローブを持ってお父さんと公園へ練習に行くよ。妹の春花ちゃんとも仲良しで面倒見が良かったっちゃんに「誰にでも思いやりのある優しい子になってね」とお母さん。

せきぐち たつや
関口達也くん(新屋)

父・大樹さん 母・真由美さん
平成15年12月2日生



『お姉ちゃんになったよ』

お父さんが休みの日は、大きな公園へ行って元気に遊ぶゆづちゃん。はしを使って何でも上手に食べ、お出掛けの時は自分のはしを必ず持つて行くんだよ。生後4カ月の妹の咲弥ちゃんのお世話もできるゆづちゃんに「ずっと仲良しの姉妹でいてね」とお母さん。

かとう ゆづき
加藤祐月ちゃん(ひばりヶ丘)

父・久詞さん 母・衣里さん
平成15年12月21日生



出場者募集

【2月のお誕生日コーナー】
▼応募期間＝1月4日から9日まで(土・日・祝日を除く)
▼対象＝2月生まれで3歳未満の児
▼応募方法＝広報情報課へ電話で☎(32)8357
※12月生まれの応募は、15人でした。

広報クイズ

問 くらまつくんの年齢はさつきちゃんの年齢の2倍です。4年前、くらまつくんの年齢はさつきちゃんの年齢の6倍でした。くらまつくんとさつきちゃんは今何歳でしょう。(2人とも未成年です)

【応募方法】①答え(例)くらまつくんとさつきちゃん1歳②郵便番号③住所④氏名⑤年齢⑥電話番号⑦広報みよしに対する意見、感想を記入し、はがき、ファクス、または電子メールで広報情報課へお送りください。正解者の中から抽選で10人に、図書券500円分をプレゼントします。

【あて先・送信先】

はがき…〒470-0205

三好町役場広報情報課(住所の記入不要)

ファクス…☎(32)2165

電子メール…kohocho@town.aichi-miyoshi.lg.jp

【締め切り】12月11日(月)必着

【11月号の正解と当選者】①14(あ)つえおの段を1〜5に置き換えて計算する。例えば「か」なら「1」「し」なら「2」②1(数字の中の○の数の合計)または0(数字の画数で計算する)(全37通正解26通)内山沙弥、大塚瑞子、尾形照子、久野聡美、小林正代、高田すみ江、前田能史、増岡成美、松尾和美、山本佑樹(敬称略)



お誕生日コーナーの応募者の中で希望する人は、お子さんの写真をひまわりネットワーク「みよしTODAY」の番組の中で紹介します。

※ご応募いただいた個人情報、抽選以外の目的では使用しません。抽選後は破棄します。

見事に実った自信作

第8回三好町果実(柿)展示品評会

三好町果実展示品評会が11月7日、グリーンステーション三好で開催されました。町特産品の力キ・ナシ・ブドウから毎年一種類ずつ行う品評会。今年は力キ農家の皆さんの自信作36点が出品されました。審査員は形や色、熟度などを細かく採点。甲乙つけ難いものばかりで、審査に苦労していました。入賞9点のうち、愛知県知事賞を受賞した水野龍雄さんは「受賞を励みにもっと良いものを作りたいです」と喜びを表していました。



垣根を越えた教育交流

幼保小中交流会

子どもたちになじみやすい教育環境を作ろうと町内幼稚園、保育園、小・中学校の先生と一緒に各施設の生活を体験する幼保小中交流会。今年度は6施設で開催、最終回が11月9日、ベル三好幼稚園で行われました。参加した18人は、園独自の学習や習慣を見学。子どもたちと触れ合いながら視野を広げていました。その後の情報交換会では「より多くの先生と一緒に学ぶことが子どもの成長に大切」など積極的に話し合われました。



地域ぐるみの展示会

街角ギャラリー

家庭教育を地域ぐるみで行い、健全な家庭教育を進める家庭教育地域活動推進事業。昨年・今年度の指定校、緑丘小学校の学区区内11カ所では「街角ギャラリー」が11月1日から30日まで開催されました。これは「明るい家庭」と「省エネ」をテーマに描いた児童の作品およそ320点を通り掛かる人に見てもらい、家庭で話し合うきっかけになればと実施。また作品の額縁も地域の皆さんが制作し、地域一体で作上げられました。



余暇にはスポーツを

第17回三好町体育協会総合体育大会

スポーツ連盟19団体の大会が、各日程で開催される総合体育大会。より多くの人がスポーツに親しむ機会として毎年行われています。その開会式が11月12日、総合体育館で行われ、原田基實もとみ会長が「スポーツを通して余暇を有意義なものにしてください」とあいさつ。続いて体育事業の功労者や各大会で優秀な成績を収めた14人と2団体が表彰されました。その後、12団体が競技を行い、参加者は心地よい汗を流していました。



いろんな体験を地域みんなで

ほくよう 北嘩っ子の集い(北部小学校)

家族や地域のひとと北部小児童が昔の遊びなどで交流する北嘩っ子の集いが11月11日、北部小学校で開かれました。児童541人は各学年で趣向を凝らした活動を展開。1年生のお手玉やこま回し体験、4年生の和だこ作りなどを参加者が一緒に楽しんでみました。5年生は自分たちで栽培したケナフを使ったはがき作りに挑戦。男子は「数力月前に植えたケナフがもう紙として使えて驚きました」と夢中で作っていました。



全身運動でリフレッシュ

親子ビクスと親のエアロビクス

親子ビクスと親のエアロビクスが11月10日、サンアートで行われました。子育て中のストレス解消になればと親子28組が参加したこの催し。エアロビクスインストラクターの渡辺文江さんを迎え、親子で触れ合った後、母親たちは本格的なエアロビクスに挑戦。音楽に合わせて、躍動感あふれる全身運動でリフレッシュしました。自身も子育て中の渡辺さんは「子育て中もどんだん外に出て活動することが大切です」と呼び掛けていました。

